

2K 1430 マミズクラゲの群体構成における3種
芽体の形成秩序について

小木曾由利江（大阪市立大・理・生物）[○] 加藤憲一
・平林佐知子・清水満紀子（大阪教育大・教養）

本種は、1個のポリプがポリプ芽体を生じ、親ポリプから離れることなく生長することによってより大きな群体となる。一方、群体内各ポリプは、プラヌラ様のフラストレ芽体を形成し、親ポリプから離れ、ポリプ化することによっても無性的増殖を行っている。

ポリプは条件さえ良ければ、フラストレを作る位置で水母芽を形成する。群体内におけるこれら3種の芽体形成の秩序性について述べる。